



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2018 **6** 月号
Vol.88
毎月1回発行(通巻88号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル7F TEL.03-5296-1933 <http://www.jmmpa.jp/>

6月30日(土)、「北海道 次世代病院経営者セミナー2018」を開催

北海道の病院経営者らが多数登壇! 変革期に不可欠な医療経営の基礎力を磨こう

6月30日(土)、当協会主催の「北海道 次世代病院経営者セミナー2018 変革期の病院経営——次世代病院リーダーのための基礎力向上セミナー」(共催:北海道大学病院、札幌医科大学附属病院)がTKP札幌駅カンファレンスセンターで開催される。セミナーの登壇者には、北海道で医療経営にかかわる病院長ら錚々たる顔ぶれが揃った。経営人材としての基礎力向上を目指す多くの医療経営士にご参加いただきたい。

北海道大学病院長の 寶金清博氏が基調講演!

はじめに、当協会の小林利彦代表理事代行による主催者挨拶のあと、北海道大学病院長の寶金清博氏による基調講演「病院のガバナンス」が行われる。一般病院よりも高度なガバナンス体制が求められている大学病院では、適切な意思決定をしていくためにどのような組織づくりをしているのか。具体的な事例とともに、病院長を支える経営人材の役割を示す講演となる。ことが期待される。

充実した講演内容で 医療経営の基礎力を向上

基調講演のあとは、3つの講義と2つの講演が用意されている。

まず、千葉大学医学部附属病院副院長・病院長企画室長の井上貴裕氏による、経営人材の基礎力向上を目的とした「病院財務の基礎①」「同②」が行われたあと、溪仁会グループ最高責任者で、日本医療経営実践協会北海道支部支部長

の田中繁道氏が「病院経営改革を成功に導くリーダーシップと組織改革」をテーマに登壇する。医療・保健・福祉の複合事業体として、地域を支えてきた溪仁会グループにおいて、田中氏はどのようにリーダーシップを発揮し、組織改革に取り組んできたのか。その成功の秘訣を聞ける貴重な内容となりそうだ。

さえておくべき経営分析指標」と題した講義が行われる。病院経営者の右腕として豊富な実績を持つ井上氏が18年度W改定の重要ポイントを踏まえて語る、現場ですぐに役立つ実践的な情報に耳を傾けたい。

続いて、井上氏が再び壇上にあがり、「2018年度W改定で病院経営者が押

その後は、医療法人溪仁会手稲溪仁会病院看護部長の田中いづみ氏による「病院経営を成功に導く看護部門の実践マネジメント——看護部長・師長に求められる視点と役割」が行われる。

プログラム(一部抜粋)

【主催者挨拶】 小林利彦(一般社団法人日本医療経営実践協会代表理事代行)

【基調講演】 病院のガバナンス
寶金清博(北海道大学病院長、北海道大学副学長、北海道大学大学院医学研究科・医学部脳神経外科教授)

【講義】 病院財務の基礎/2018年度W改定で病院経営者が押さえておくべき経営分析指標
井上貴裕(千葉大学医学部附属病院副院長・病院長企画室長、特任教授)

【講演】 病院経営改革を成功に導くリーダーシップと組織改革
田中繁道(溪仁会グループ最高責任者・医療法人溪仁会理事長、日本医療経営実践協会北海道支部支部長)

【講演】 病院経営を成功に導く看護部門の実践マネジメント——看護部長・師長に求められる視点と役割
田中いづみ(医療法人溪仁会手稲溪仁会病院看護部長、認定看護管理者)

【パネルディスカッション】 変革期に求められる病院経営の使命と課題——地域医療を担う次世代病院の新たな戦略と経営人材の育成

- ▶パネリスト
秋野 桂(厚生労働省北海道厚生局健康福祉部医事課課長)
目黒順一(社会医療法人北楡会札幌北楡病院院長)
小熊 豊(砂川市立病院名誉院長)
磯部 宏(KKR札幌医療センター病院長)
松浦 亨(北海道大学病院国際医療部客員臨床教授)
- ▶モデレーター
牧野憲一(日本赤十字社旭川赤十字病院長)
土橋和文(札幌医科大学附属病院院長)

※敬称略、プログラムは諸般の事情により変更となる場合があります

北海道 次世代病院経営者セミナー2018

変革期の病院経営

——次世代病院リーダーのための基礎力向上セミナー——

6月30日(土)開催
参加登録受付中!

開催概要

- 日 時: 2018年6月30日(土)
セミナー 9:00~17:20 (受付開始8:30)
懇親会 17:30~19:30
- 会 場: TKP札幌駅カンファレンスセンター
- 参加費: セミナー 医療経営士・共催団体職員4,500円/一般5,000円(税込)
懇親会 医療経営士・共催団体職員4,500円/一般5,000円

- 主 催: 一般社団法人日本医療経営実践協会
- 共 催: 北海道大学病院、札幌医科大学附属病院
- お問い合わせ先:
北海道 次世代病院経営セミナー2018 運営事務局
一般社団法人日本医療経営実践協会
電話: 03-5296-1933 FAX: 03-5296-1934

【参加お申し込みは特設サイトへ】 <http://www.jmmpa.jp/seminar/jisedai/>

セミナープランナーからのメッセージ

次世代の医療経営を支える基礎力を磨き、病院の総合力を向上させよう!

北海道大学病院長 寶金 清博 札幌医科大学附属病院院長 土橋 和文

5月に入り、新人職員の皆様も職場に慣れ、病院の診療活動もお忙しいことと思います。

病院経営を取り巻く状況は、ますます厳しくなっており、健全な財務基盤の下でこそ、適切な医療提供が可能なのは言うまでもありません。

医師、看護師、医療関係者のほとんどは、医学・看護学・医療制度の知識はあるものの、病院経営に関する基本的な教育を受けておりません。従来は、特別な知識がなくとも、知識のある医事課の支援があれば、病院経営が健全に成り立つ状況もありました。しかし、近年は、病院経営に関する深い理解と知識、その最新化やアップデートがなければ、経営悪化の下向きのベクトルに負けてしまう状況があります。

今回、次世代の病院経営に関わる関係者

向けにセミナーをプランいたしました。病院は、多職種によって機能しますので、経営においても、事務職、看護師、薬剤師、医療技術者、さらには、病院を外部から支える製薬企業、医療物流関係企業、調剤関係企業など、多くの方が、病院経営に関する正しい基礎力を持つことで、病院の総合力を向上させることができます。

是非、多くの職種の方にご参加賜り、北海道の次世代医療経営を支える基礎力を磨いていただきたいと思います。

また、リアルな地域の情報収集は、極めて重要です。その意味で、多くの病院関係者が病院経営の立場から情報交換をする機会として、セミナー後に行われます懇親会(情報交換会)にもご参加いただきますようお願いいたします。

皆様のご参加を心からお待ちしております。

豪華パネリストが次世代病院に必要な戦略を探る

セミナーの最後を飾るプログラムは、日本赤十字社旭川赤十字病院長の牧野憲一氏、札幌医科大学附属病院院長の土橋和文氏がモデレーターを務めるパネルディスカッションだ。テーマは「変革期に求められる病院経営の使命と課題——地域医療を担う次世代病院の新たな戦略と経営人財の育成」。厚生労働省北海道厚生局健康福祉部医事課長の秋野桂氏をはじめ総勢

5人の豪華パネリストによるディスカッションを通して、これからの病院経営に不可欠な戦略や方向性を探っていく。医療経営士にとって、自らが取り組むべき課題のヒントを見つめる絶好の機会となるだろう。

セミナー終了後は、参加者同士で親睦を深め、情報交換を図ることを目的とした懇親会が開催され、充実した1日が幕を閉じる。

現在、協会ホームページにて大会参加登録エントリーを受付中。多くの医療経営士にご参加いただきたい。

支部NEWS

関東支部

石井先生と語ろう♪ W改定カフェ

全5回の日程が好評のうちに終了!
6月からは「石井ゼミ」がスタート

W改定のポイントを学び
経営人材としての役割を議論

2017年12月より毎月定期的開催されてきた研究会「石井先生と語ろう♪ W改定カフェ」が好評のうちに全5回の日程を終了した(各回のテーマは表1のとおり)。同カフェには、医療経営士をはじめ、介護福祉経営士(日本介護福祉経営人材教育協会の認定資格)ら多数の経営人材が参加。講師を務めた多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェローの石井富美氏による解説と参加者同士のディスカッションを通して、2018年度診療報酬・介護報酬同時改定のポイントを学んできた。

4月18日(水)に行われた最終第5回では、これまでの内容を振り返るとともに、次回以降の診療報酬・介護報酬改定を含

めた政策の方向性とそのなかで経営人材が果たすべき役割について議論した。最初に石井氏が18年度診療報酬改定の答申書附帯意見について解説。その後のグループディスカッションでは、18年度改定で大幅に見直された入院医療の評価体系について、参加者から「次回以降は医療機能の高さに基づく評価が行われていく」といった意見が挙がっていた。その他、この日は、厚生労働省が今年3月に公表した「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に関する講義も行われた。

公的保険外のフィールドで
医療経営士の活躍に期待

石井氏は全5回の締め括りとして、これからの医療専門職に期待されるフィー

ルドについて、「公的医療保険・介護保険だけではなく、保険外の運動、栄養、保険サービスなど、地域に根ざしたヘルスケア産業の創出が求められる。院内の専門職が地域に出て、保険ではなく契約料を受け取っていくという方向にパラダイムシフトを図っていく必要がある」と強調。新たなフィールドをつくっていくうえで、経営人材の企画力や多職種と交わる力が問われると、医療経営士らの活躍に期待を寄せた。

大好評だったW改定カフェに続き、石井氏を講師に迎えた「石井ゼミ」が、関東支部で6月から、関東支部東北支局で7月からスタート(日程は表2のとおり)。ぜひ多くの方にご参加いただきたい。

W改定の内容を経営士目線で解説する講師の石井氏



カフェには、医療経営士だけでなく、多くの経営人材が参加した

表1 「W改定カフェ」全5回の開催テーマ

開催日	テーマ
第1回 12月20日(水)	改定のポイントと経営士の役割
第2回 1月17日(水)	医療介護の連携
第3回 2月21日(水)	入院医療の評価体系見直しとデータ収集の狙い
第4回 3月28日(水)	施設系サービス(介護医療院、特養、老健)のゆくえ
第5回 4月18日(水)	これまでのまとめとこれからの展望

※詳細は協会ホームページをご確認ください

表2 「石井ゼミ」開催スケジュール

【関東支部】 病院・地域を動かす 経営人材になるための 石井ゼミ		【関東支部東北支局】 医療・介護・栄養で イノベーションを起こすための “石井ゼミ” in 東北	
開催日	テーマ	開催日	テーマ
第1回 6月2日(土)	自分を動かす	第1回 7月14日(土)	気づき、解決する力を養う
第2回 7月7日(土)	周囲を動かす	第2回 9月1日(土)	伝える力を身につける
第3回 8月4日(土)	病院を動かす	第3回 11月10日(土)	未来を読む力を育む
第4回 9月8日(土)	地域を動かす		

医療経営士のための W塾開校!

医療現場を変える実践力を備えた 経営人材の育成をめざして!

日本医療経営実践協会では、現在、医療経営士を対象に、第6期「経営人材育成 中村塾」(本部主催)と「藤井塾」(九州支部主催)という2つの塾を開校している。各塾の内容や構成は異なるものの、「実践力を備えた経営人材の育成」が共通した目的だ。塾では毎回、医療経営に関連したさまざまなテーマについて意見を交わし、時には議論を繰り返す。

この積み重ねが塾長と塾生との間に強い絆をつくり、人間の成長にもつながっていく。ここでは、貴重な学びの場である2つの塾について紹介する。

中村塾 (東京)

全国大会の演題発表者を多数輩出！意識の高い人材が集う

5月12日(土)、東京千代田区において第6期「経営人材育成 中村塾」(以下、中村塾)が開催された。2013年12月に、医療界における松下村塾を標榜して旗上げを行い、月1回・5か月連続を1セット(1期)として、6年

目を迎えた。第5期までのこの間、入塾者の延べ人数は124名を数え、第6期では新たに16名が塾の門を叩いた。

ループワークおよび中村氏の論評・解説を組み合わせた「中村実践道場」を導入している。

感性にすぐれ、改革推進の旗手となる実践家を育てる!



中村彰吾 塾長
一般社団法人
日本医療経営実践協会 参与

塾長を務める中村彰吾氏は、先年亡くなった聖路加国際病院名誉院長の日野原重明先生の片腕として経営改革に辣腕を振るい、聖路加ブランドを全国規模に押し上げた立役者として知られる。第4期までは中村氏の豊富な実務経験をベースとした白熱講義が中心であったが、昨年の第5期より毎回、塾生による1人10分間のプレゼンを課し、そのプレゼンの内容をもとに

から参加している。また、中村氏と塾生とが膝を交えて胸襟を開き、親睦を深める懇親会や、塾終了後に毎回提出を必須とするアンケートを実施。アンケートに講義やプレゼンへの評価・質問等を記載してもらい、その内容がPDCAサイクルとして次回の講義に綿密に活かされているのも特長だ。

藤井塾 (福岡)

継続研修と議論で実力をつけ現場の経営力を高める

「藤井塾」は2017年10月にスタート。経営に関するトピックの検討やロールプレイ、実践ケーススタディを通じて、現場での経営力を高めていくのが目的だ。病院向け経営コンサルティング会社勤務を経て、現在、熊

本県の谷田病院事務部長を務める藤井将志氏を塾長に、2か月に1回、開催している。藤井氏は、雑誌『月刊医療経営士』(日本医療企画)に「ニュースマンズリー」を連載中で、その考え方や実践法を参考に行っている医療経営士も多いだろう。

院が地域の在宅医をネットワーク化する試みを報告した。「当院では、在宅医療を担う医師と毎月、連絡会議を開催している。事務局としての仕事は多いが、それはデメリットではない。入院患者も増えている。医師だけでなく、事務職員でも、患者さんを連れてこられることを実践しよう!」と塾生を鼓舞した。

知識ばかりの頭でっかちではなく、医療機関での実行力を備えた人材を育てる!



藤井将志 塾長
特定医療法人 谷田会 谷田病院 事務部長
熊本保健科学大学 非常勤講師

5月12日(土)の藤井塾トピック検討では、「最新のITツールを医療に活用する」をテーマに、塾生それぞれが「ITの導入により、紙での稟議書を廃止した」「保険証の紛失予防のため、スキヤンしたのち、その場で返却している」など、自院の取り組みを

また、藤井氏は「IT化によって、事務の仕事がなくそうとしているわけではない。効率化を図った分、経営やマネジメント力をつけ、地域に出ていくことを考えてほしい」と塾生を激励。地域に出る事例として、谷田病

藤井塾の特長

- ▼継続研修でスパイラルアップ!
- ▼ロールプレイスタディで実践体験を重ねる
- ▼議論を通じて、塾生同士で課題を共有

中村塾の特長

- ▼他の追随を許さない中村塾長の豊富な経験・生きた事例を身近に学べる
- ▼白熱講義と詳細アンケートで理解を深め、経営数字に強くなる
- ▼全国から集う同じ志・悩みを抱く仲間と絆を結び、切磋琢磨を重ね成長する

関東支部
第16回
神奈川研究会

これからの地域包括ケアの形と 医療経営士に求めること(仮)

7月23日
[月]
開催!!

関東支部支部長
安藤先生が
講演!



【開催概要】

- 日時：7月23日(月) 19:00~
- 講師：安藤高朗氏 (医療法人社団永生会理事長、衆議院議員、日本医療経営実践協会関東支部支部長)
- 会場：かながわ県民活動サポートセンター301会議室
- 定員：90人
- 参加費：会員1,000円/非会員3,000円
- 日本医療経営実践協会関東支部 神奈川研究会運営事務局 担当：済生会横浜市東部病院 医事企画室 金城
TEL：045-576-3000 (内線：9707 平日日中のみ) E-mail：y_kinjo@tobu.saiseikai.or.jp

事務局 掲示板

6月17日(日)の資格認定試験 2級は544人、3級は2,926人がエントリー

6月17日(日)に実施する第15回「医療経営士2級」資格認定試験の受験エントリーが5月11日(金)に終了し、544人(両分野受験)の方がエントリーしました。また、同日実施する第24回「医療経営士3級」資格認定試験は2,926人の方がエントリーしています。

両試験の合格者は7月17日(火)に発表。本紙9月号では試験結果の詳細をレポートする予定です。

2018年度試験および第7回札幌大会の ポスターを掲示していただける会員の方を募集!

2018年度「医療経営士」資格認定試験および第7回「全国医療経営士実践研究大会」札幌大会のポスターを掲示していただける会員の方を募集中です。ご希望の方は下記お申し込みメールアドレスに「医療経営士ポスター希望」と件名をつけ、お名前、所属先、肩書き、送付先住所、電話番号、希望するポスター、必要部数をご明記の上、ご連絡ください。皆様のご応募をお待ちしております。



▶お申し込み

E-mail : info@jmmpa.jp

PICK UP 研究会

6/16 東海支部

社会福祉法人に大いに期待する未来

～地域包括ケアシステムを分解して考える"社会福祉法人の次の一手!"～

株式会社日本医療企画中部支社(東海支部共催)は、地域包括ケアシステムにおける社会福祉法人の役割をテーマとしたセミナーを開催する。講師は株式会社みらい経営ヘルスケアコンサルティング事業部シニアマネージャーの田中保男氏。

2018年度診療報酬・介護報酬同時改定を受け、社会福祉法人はこれから何をすべきか。セミナーでは、在宅医療機関との連携をはじめとした4つの柱を挙げ、進むべき方向性を解説する。

- 日時
6月16日(土)13:30～15:30
- 会場
株式会社日本医療企画中部支社
セミナールーム(愛知県名古屋)
- 参加費(税込)
会員1,000円/一般2,000円
- お問い合わせ先
日本医療経営実践協会東海支部
(担当:吉野)
TEL:052-209-5451

6/23 関西支部

地域連携・ポリファーマシー・薬価改定 2018年度ダブル改定から見えてきた、 地域における薬剤師・薬局の役割と実際

関西支部では、うしろく株式会社の濱崎勲氏(認知症ケア専門士、シニア住宅相談員)、上六薬局の真野有紀氏(管理薬剤師)を講師に迎え、介護福祉経営士・栄養経営士との合同研究会を開催する。

2018年度診療報酬改定により、薬剤師・薬局に求められる役割はどのように変わったのか。地域連携におけるポリファーマシー対策など現場ですぐに役立つ実践的な情報を講義とグループワークを通して学ぶ。

- 日時
6月23日(土)14:00～17:00
- 会場
上田公認会計士事務所
セミナールーム(大阪府大阪市)
- 参加費(税込)
会員1,500円/一般3,000円
- お問い合わせ先
日本医療経営実践協会関西支部
(担当:喜津木)
TEL:06-7660-1761

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
6月2日(土)	関東	病院・地域を動かす経営人材になるための 石井ゼミ 第1回(全4回) ※7月7日(土)に第2回を開催	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
6月3日(日)	関東	合格者のつどい 「"求められる人材"から"活躍する人材"へ」	秋山和宏氏(医療法人財団松園会東葛クリニック病院副院長、 一般社団法人日本栄養経営実践協会副代表理事)
6月16日(土)	東海	社会福祉法人に大いに期待する未来 ～地域包括ケアシステムを分解して考える"社会福祉法人の次の一手!"～	田中保男氏(株式会社みらい経営ヘルスケアコンサルティング 事業部シニアマネージャー)
6月23日(土)	関西	2018年度ダブル改定から見えてきた、 地域における薬剤師・薬局の役割と実際	濱崎勲氏(うしろく株式会社認知症ケア専門士、シニア住宅相談員) / 真野有紀氏(上六薬局管理薬剤師)
6月29日(金)	九州	第2回「福岡県南部医療経営交流会」 テーマ:目標管理	直島桂太氏(地方独立行政法人筑後市立病院)
7月14日(土)	関東 (東北支局)	医療・介護・栄養でイノベーションを起こすための "石井ゼミ" in 東北 第1回(全3回)	石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所フェロー)
7月21日(土)	関西	アンガーマネジメント実践講座 「怒りをコントロールして良好な対人関係構築へ」	廣井典子氏(ひろい社会保険労務士事務所)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

第7回 全国医療経営士実践研究大会 札幌大会 6月上旬より参加エントリー 演題発表登録の受付開始!

2018年
開催日時
10月20日(土)
10月21日(日)

大会テーマ
**新時代を切り拓く
医療経営士の挑戦と創造**
——“顔”と“想い”の見える連携づくりを目指して

大会参加料金を大幅引き下げより参加しやすくなりました!

- 事前参加登録料金(税込)
両日:9,000円
1日:5,000円
- ※会員価格
- ※懇親会は別途5,000円

会場 札幌ビューホテル大通公園 札幌市中央区大通西8丁目

運営委員会 田中 繁道 浜仁会グループ最高責任者/医療法人浜仁会理事長/日本医療経営実践協会北海道支部支部長